

# 条件不利地域における生産性向上に向けたボトルネック解消への支援

政策提言先 農林水産省、林野庁

## 政策提言の要旨

中山間地域では、過疎化・高齢化の進展により地域経済が縮小するなど厳しい状況におかれています。一方で、こうした地域には豊富な森林資源を有していますが、これを十分に生かし切れていない状況にあります。

この豊富な森林資源を活用して、原木の生産から加工、流通・販売体制の強化など、地域の実情に応じた川上から川下までの総合的な取り組みを行うことにより林業の成長産業化を実現し、雇用の創出や所得の向上を図ることが、中山間地域の活性化につながると考えます。

将来にわたって中山間地域を元気にしていくためには、明確なビジョンのもと、林業の成長産業化に向けて官民協働で取り組んでいくことが必要であり、国においてはその取り組みに対する支援を充実していただくよう提言いたします。

## 【政策提言の具体的内容】

- 1 林業の成長産業化に向けた地域の川上から川下までの総合的な取り組みに対して、その進捗に応じた生じてくるボトルネックを適時適切に解消できるよう、総合的な支援策の充実を図っていただくことが必要です。
- 2 条件不利地域や林業が主要産業である地域など、地域の実情に応じてきめ細かく柔軟に予算配分ができるような支援策の制度設計をしていただくことが必要です。

## 【政策提言の理由】

林業の成長産業化による地域の活性化に向け、先進的な取り組みを行っている県においては、川上から川下までの総合的なビジョンを定め、その目標達成に向けた取り組みを進めています。

本県では「産業振興計画」を策定し、林業分野では成熟した森林資源を最大限、有効に活用することにより、雇用の場の創出と所得向上を図り、林業の成長産業化と中山間地域の振興のため、総合的な対策を推進しているところです。

これまで、効率的な森林施業を行うために、施業の集約化や路網整備、高性能林業機械の導入など基盤整備に重点を置いて取り組むとともに、並行して大型製材工場や木質バイオマス発電施設の整備等を進めてきました。

これらの取り組みの結果、木材需要は着実に増加しており、原木生産量も増加してきています。さらに、CLTやSWPなどの様々な木質建材を活用して非住宅建築物等への木材利用を拡大する取り組みをより一層進めることにより、さらなる需要拡大が見込まれ、木材利用の好循環を生み出す好機となっています。

このような中、林業事業者の原木増産に対する気運も高まっていますが、人材の確保や高性能林業機械の導入が隘路となっており、原木生産量は60万m<sup>3</sup>で足踏み状態にあります。

人材の確保・育成については林業学校の創設等により中核となる人材の育成を進めているところですが、一定の時間を必要としますことから、地形が急峻・複雑な本県において生産効率を上げ、さらなる増産を図るためには、高性能林業機械や路網整備が必要であり、多くの林業事業者から支援の要請が出てきています。

このように計画の進捗に応じて生じる新たなボトルネックを適時適切に解消できるよう、総合的な支援策の充実を図っていただくよう提言します。また、地理的・地形的条件が不利な地域への配慮や、林業が当該地域の主要産業として重要な地位を占めている地域への配慮など、地域の実情に応じてきめ細かく柔軟に予算配分がなされるような支援策の制度設計をしていただくよう提言します。